

群馬創生 Vol.4

環境整備で 移住を喚起

総合リサイクル業の糸井商事(高崎市上大類町)の糸井丈之社長とフリーキャスターの伊藤聡子さんが「群馬創生」をテーマに語り合う対談シリーズ。4回目(最終回)は、若年層を中心に盛り上がりを見せているeスポーツを軸にした地域振興の可能性を探る。



糸井商事社長、糸井ホールディングス(HD)社長。1954年、高崎市生まれ。高崎高専卒業。野球の独立リーグ、群馬ダイヤモンドペガサスの球団会長を務める。NPO法人群馬外国人支援センター理事長、群馬eスポーツ社長。

伊藤 糸井ホールディングス(HD)はeスポーツ施設「GUNMA eSPORTS」の運営や全国規模の大会でeスポーツを盛り上げるなど、eスポーツの普及に力を入れています。群馬でeスポーツの浸透力を入れる狙いは何ですか。

高齢化が加速している地方において、いかに健康寿命を延ばせるかが課題になっています。第一の人生の新たな生きがいとして、ゲームが健康寿命を延ばすツールの一つとして活用できるのではないのでしょうか。

糸井 野球の独立リーグ、ルートインBCリーグの群馬ダイヤモンドペガサスと同じく、群馬の活性化が目的です。地域活性化の一番の目標は定着・交流人口を増やすことです。eスポーツは世界的に競技人口が増加しており、注目度が高まっています。群馬がeスポーツの盛んな場所として広まれば、人々が群馬に集まるきっかけの一つになるのではないかと考えました。

糸井 テレワークの普及により、都心部からの移住が増えています。移住の決め手は子育てや医療、趣味など人によってさまざまです。その一つとして「eスポーツに打ち込める環境」が移住を決める際の選択肢になりうるのではないかと考えています。

伊藤 世代を超えて多くの人々が一緒に楽しめるという可能性は私にも感じています。私の世代もゲームに熱中した時代があります。今もスマホゲームに夢中になっている人もいますし、新しいものに触れれば胸が高鳴ります。

伊藤 私は「都会を出て暮らす」という移住をテーマにした番組でMCを務めています。番組ではこれまで、子どもに最高の環境でゴルフをやらせたいと中高生の全国大会が毎年開催されている兵庫県三木市に移住した家族や、趣味のサーフィンを愛する家族のために愛知県原市伊良湖町に移住した夫婦など、さまざまな人々を紹介してきました。移住者を見ていて感じたのは「人は本当にいろいろな理由で移住を決めるのだな」ということです。

オンラインで全国どこでもつながることができ、東京に

いなくても仕事ができるようになったことで、生きる場所を柔軟に選択できる時代となりました。こうした時代の変化に合わせて、eスポーツが移住の選択肢の一つになる可能性も大いにあると思います。

文化醸成へ GeA開催

糸井 糸井HDはこれまで、県が主催した19歳以下の日本一決定戦「U19eスポーツ選手権」やゲーム実況の腕前を競う「全日本eスポーツ実況王決定戦」などでeスポーツを盛り上げてきました。昨年11月には、Gメッセ群馬で開かれた「Red Bull 5G」(レッドブル・シヤバ主催)のトップレベルeスポーツとして全国規模の大会開催に

いなくても仕事ができるようになったことで、生きる場所を柔軟に選択できる時代となりました。こうした時代の変化に合わせて、eスポーツが移住の選択肢の一つになる可能性も大いにあると思います。



フリーキャスター、事業創造大学院大学客員教授。1967年、新潟県糸魚川市生まれ。東京女子大卒業。事業創造大学院大学でMBA(経営学修士)取得。現在はコメンテーターとして「ひるおび」「TBSテレビ」などに出演し、地方創生をテーマに幅広く活躍中。

フリーキャスター 伊藤 聡子さん × 糸井 丈之さん

eスポーツの聖地へ

eスポーツ×糸井HD



協力し、大きな注目を集めました。一方、こうした大規模な大会で活躍する群馬県選手はまだ少ないのが現状です。課題である県内への浸透を図るために、来年2月に上毛新聞社と協力して「Gunma eスポーツアワード(GeA)」

を初め開催します。GeAは「県民の県民による県民のためのイベント」と位置づけ、ゲームの腕前を競うeスポーツ競技部門を中心

けん引人材 地元で育成

伊藤 群馬県ではeスポーツを通じた地方創生力を入れています。2016年から開催されている「Toyama Gamers Day」というゲームイベントには、地元メディアをはじめ多くのeスポーツが参加し、県外からも多くの人が訪れるなど例年盛り上がりを見せています。eスポーツを観光振興や高齢者の健康寿命増進などに結び付けた事業も積極的に展開しており、先進的な事例として注目を集めています。

伊藤 地方創生にとって企業力は欠かせないと思えます。業の力は欠かせないと伝えてきました。一方で、ビジネスとの兼ね合いからやりたいと客を支える側の態勢も充実しているからこそ、聖地と呼ばれるゆえんだと思います。糸井社長がまたい種成長は地域の発展と一体と

対談終えて

糸井 30年前の偶然の出会いから実現した対談ですが、伊藤さんの豊富な経験や多彩な見識に触れ、非常に有意義な時間でした。これからも群馬のために力を尽くしていきたいと思えます。(おわり)

Gunma eスポーツアワード(GeA)は、県民へのeスポーツ浸透を目的に、上毛新聞社が来月2月18日(土)にピエント高崎ビッグキューブで初めて開催する。糸井HDが運営を担う。

ゲームの腕前を競う「e競技部門」のほか、競技性を持った対戦型ゲームのアイデアを競う「eゲーム開発部門」とeスポーツを活用して県内の地域や企業、団体、学校を活性化させるアイデアを競う「e活性化部門」の3部門で実施する。e競技部門のゲームタイトルは、「ぶよぶよeスポーツ」と「eBASEBALL パワフルプロ野球2022」で、追加タイトルを11月中旬に発表予定。

競技・ゲーム開発・活性化 GeA3部門で初開催

eゲーム開発とe活性化の2部門は、12月16日(金)まで参加者を募集しており、応募資格はいずれも県内在住かつ在学の人で、国籍や年齢、職業、性別は問わない。個人または3人までのチームで参加できる。

申し込みは公式ホームページ「QRコード」から。問い合わせは、糸井HD(☎027・381・6335)、上毛新聞社営業局事業部(☎027・254・9955)へ。



糸井商事の4つの事業



Shape a circulating society
~循環する社会をカタチに~

糸井商事株式会社

本社住所 〒370-0031 高崎市上大類町399 TEL 027-352-6335



Gunma eスポーツアワード

2023年2月18日(土)ピエント高崎で開催

~eスポーツで群馬をもっと元気に~

パネルディスカッション/eスポーツで群馬創生

11/4 金 18:00~



主催:上毛新聞社 トップパートナー:カインズ、オープンハウスグループ、糸井商事
後援:群馬県、群馬県教育委員会、群馬テレビ、エフエム群馬 運営:糸井ホールディングス/GUNMA eSPORTS

会場:上毛新聞社1階上毛ホール 前橋市古市町1-50-21

参加人数:先着50名

参加無料

イベントは動画サイトでLIVE配信!



申し込みは公式ホームページ「QRコード」から

問い合わせ:上毛新聞社営業局事業部 TEL.027-254-9955